

骨粗鬆症検診に対する意識変化を促す保険薬局の取り組み

北浦 大至

総合メディカル（株） そうごう薬局 諫早小野町店

【背景・目的】

長崎県における骨粗鬆症の検診率は4.3%であり、全国的に見ても低く、骨粗鬆症への関心は高くない現状にある。そこで、保険薬局において、骨粗鬆症に対する意識向上に寄与することを目的とし、骨粗鬆症の予防と治療ガイドラインに記載のある、簡便な椎体骨折スクリーニング方法 Wall-occiput test (以下 WOT) を用いて、骨粗鬆症に関する生活改善情報の提供と、検診率向上への啓蒙活動を実施したので報告する。

【研究方法】

2016年2月～7月長崎県内3店舗において、骨粗鬆症に関するポスターを設置し、骨粗鬆症検診未実施の40歳以上女性を対象に WOT 実施の案内を行った。WOT を実施した患者については、希望により、骨粗鬆症になりやすい生活習慣がないか、骨粗鬆症予防のための指導(運動・食事・飲酒・喫煙)を行った。また WOT において、脊椎が曲がり壁に後頭部が着かなかった患者については、特に骨粗鬆症検診についての案内を行い、近隣整形外科一覽表の情報提供をし、再来局時にその後の経過を確認した。

【結果】

期間中、WOT 実施した患者は74名(40代3名、50代9名、60代35名、70代23名、80代4名)であった。そのうち、脊椎が曲がっていることが確認された患者は9名であり、生活習慣指導を希望した患者は23名であった。再来局時の確認においては、1名が整形外科を受診し骨粗鬆症と診断された。また実施した患者が自宅で高齢の家族に WOT を広めた事例や、運動や食生活などの生活習慣を見直したという事例を確認した。

【考察】

今回、骨粗鬆症検診未実施の患者を対象としたが、WOT を実施することで、考える良い機会になったという声が多く得られた。本取り組みでは、生活習慣改善への関心は少なかったものの、簡易ながら検診への意識変化に繋がることが示唆された。今後も、地域の健康サポート薬局として、積極的に情報提供を継続することで、検診率を向上させ、椎体骨折などへの移行を防ぐ一助として機能していきたい。